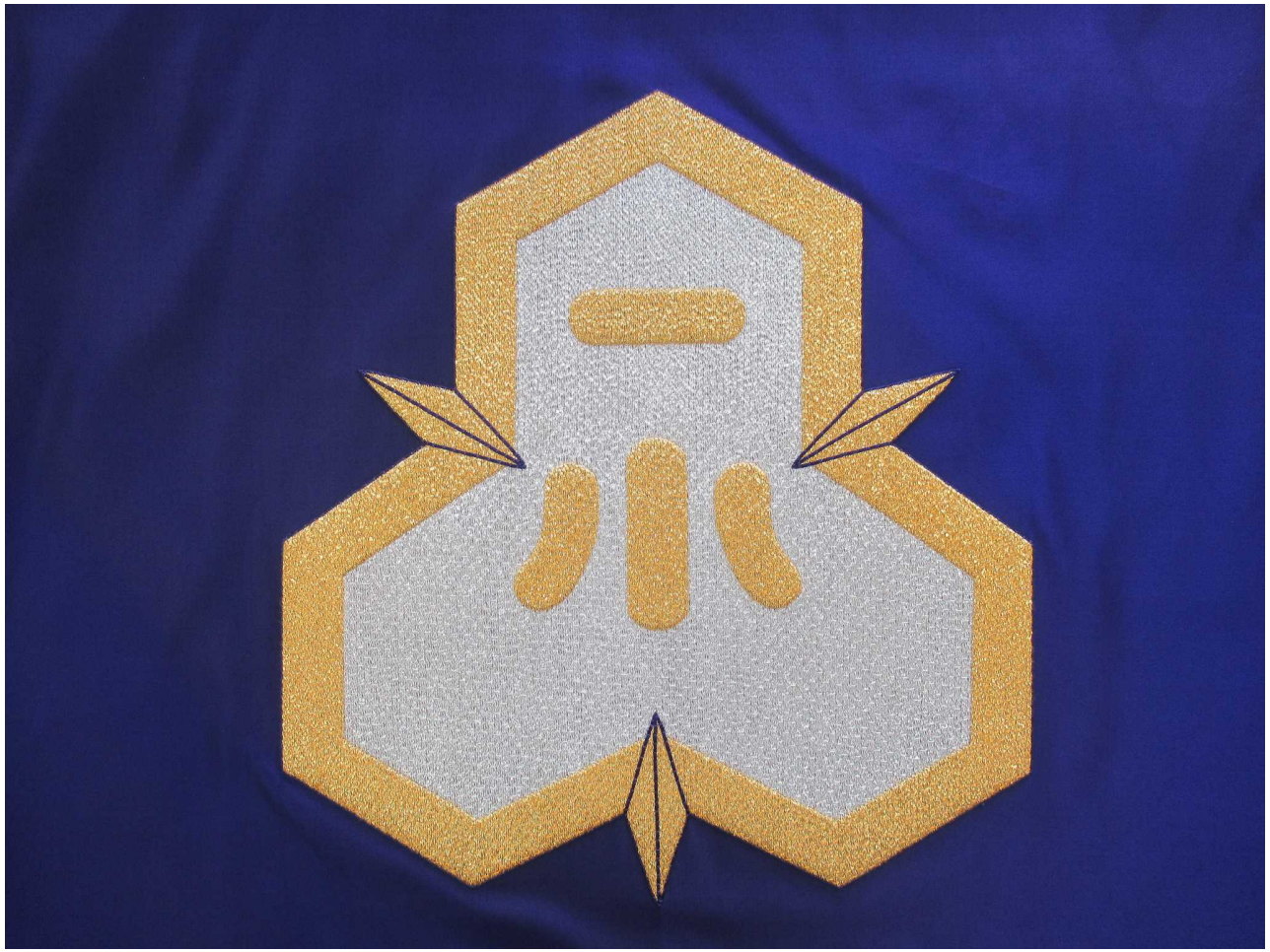
＜校章について＞



　校章のデザインは、私たちにとって身近な「さはこ」(三函・三箱・佐波古)という言葉からきています。

「さはこ」の由来については諸説ありますが、「かつて、湯ノ岳山頂に、戒(ｶｲ)・定(ｼﾞｮｳ)　・慧(ｴ)と書き記された三つの大きな箱型の石があったため、そこを三箱山と名付けたのが始まり」と伝えられています。

　戒・定・慧とは、人間として学び修めるべきもっとも大切なものを教示した言葉です。その意味とは次のとおりです。

・戒＝悪いことをしないでよいことをする

・定＝身心を調え、精神統一をして心の安らぎをえる

・慧＝安らかになった心で正しく真実の姿を見きわめる

　この教えから、「正しく・強く・朗らかに」が湯本一小の校訓となり、校歌としても長く歌い継がれています。

　校章のデザインにも、「正しい心」「強い心」「朗らかな心」を大切に生活してほしいという願いが込められているのです。

＜さはこ魂＞ 正しい心

朗らかな心　　**強い心**